

一般質問通告内容

(令和8年定例会6月会議)

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
2	飛島 宣親 (議席番号 5番)	<p>1. ガストロノミーツーリズムの推進による白老の食と文化を生かしたまちづくりについて</p> <p>(1) 白老の食資源とアイヌ文化を活用した回遊性向上の取組について</p> <p>(2) 行政、民間事業者、生産者らの連携による体験プログラムの造成等を担う地域コーディネーター登用の考えについて</p> <p>(3) 旅先でふるさと納税を行う「ふるたびしらおい」を活用し、食資源を生かした調理体験をはじめとした体験型観光の可能性と、町民が笑顔で地域の食を楽しめる機会を増やす環境づくりについて</p> <p>答弁を求める者 町 長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
2	飛島 宣親 (議席番号 5番)	<p>2. 有害鳥獣駆除対策の現状と、捕獲体制の強化及び地域資源化への課題について</p> <p>(1) 近年における町内のエゾシカの生息状況及び農林業被害や生活環境への影響の推移について伺います。</p> <p>(2) 銃猟だけでなく、駆除効率の向上に向けた「くくり罠」や「囲い罠」等の導入状況及び市街地周辺など銃器が使用できない地域での罠猟の活用の考えについて伺います。</p> <p>(3) 有害鳥獣駆除の「予算の上限」や「実施期間（一般狩猟期との兼ね合い）」により、期末に捕獲活動が停滞してしまう現状について、町の認識と対策を伺います。</p> <p>(4) 資機材の消耗品費、銃の維持費や更新費用など、ハンター個人にかかる経済的負担に対する町独自の支援策及び担い手の育成状況について伺います。</p> <p>(5) 捕獲されたエゾシカの「ジビエ利用」や「皮革加工」等への活用実績と官民連携の現状及び命を無駄にしない地域経済活性化への展望を伺います。</p> <p>(6) エゾシカの正確な生息数調査や夜間の出没推移をデータ化し、効率的な捕獲へつなげるため、赤外線サーモグラフィ搭載ドローンやA I（人工知能）を用いた出沒予測等の最新テクノロジーの導入に対する考えを伺います。</p> <p>(7) 生活道路や住宅街、家庭菜園等への侵入・食害を水際で防ぐため、シカが嫌がる匂い成分を持つ「ヒトデ忌避剤」の活用など、町独自の防護策や住民への支援の考えについて伺います。</p> <p>(8) 町民の安全安心を確保するため、エゾシカの適正管理にとどまらず、市街地出沒時に迅速かつ安全に対応するための「ヒグマの緊急銃猟体制」の維持・強化及びこれらを支える高度な捕獲従事者への町の支援体制について伺います。</p> <p>答弁を求める者 町 長</p>